



《公 印 省 略》

5こサ第1498号
令和5年9月5日

関係者各位

久留米市長 原口 新五

ヤングケアラーに関わる支援機関等研修会の実施について

初秋の候、貴職におかれましては、ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。また、日頃より、久留米市における子ども・子育て支援の取組には、ご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、家事や家族の世話などを日常的に行っているヤングケアラーは、年齢や成長の度合いに見合わない重い責任や負担を負うことで、本人の育ちや教育に影響が出ることが課題となっております。

こうした中で、家族が抱える課題が複雑で複合化しやすい状況では、機関・団体・事業者・地域などの関係者が連携し、ヤングケアラーの早期発見や切れ目のない支援につなげる取組が求められています。

つきましては、昨年度に引き続きヤングケアラーについて詳しく知り、関係者として何ができるのかを考えるため、この度、下記のとおり研修会を開催することとしました。関係者の皆様におかれましては積極的なご参加をよろしくお願いいたします。

記

1 実施日時

令和5年10月21日（土） 14時00分～

2 実施場所

久留米シティプラザ5階 大会議室

3 講師

一般社団法人ヤングケアラー協会理事 高垣内 文也氏

4 申込方法

電子申請・電話・FAX

※詳細は、別紙のチラシをご覧ください。

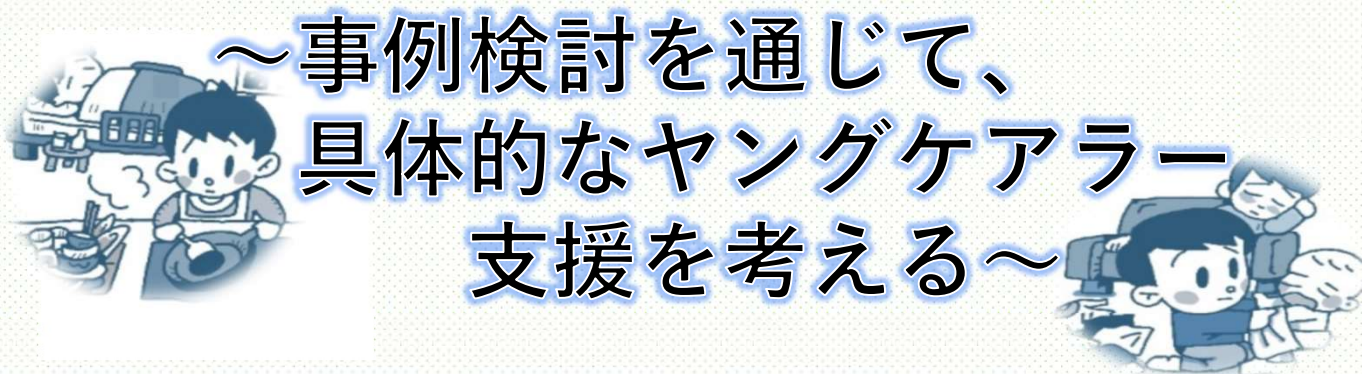
【連絡先】

子ども未来部 こども子育てサポートセンター
（担当）深町、伊藤、中島

電 話：0942-30-9302

FAX：0942-30-9718

令和5年度 ヤングケアラーに関わる支援機関等研修会



家事や家族の世話などを日常的に行っているヤングケアラーは、年齢や成長の度合いに見合わない重い責任や負担を負うことで、本人の育ちや教育に影響を受けることもあります。実際に、ヤングケアラーに対してどういう支援をしたらいいかなど、それぞれの立場で考え、関係機関・団体・事業者などが連携した支援ができるよう考えてみませんか。

講師

たかがいと ふみや

一般社団法人ヤングケアラー協会理事 **高垣内 文也氏**

【プロフィール】

元ヤングケアラー(若者ケアラー)。20歳の時に祖母がアルツハイマー型認知症と診断され、約10年間介護に関わる。2019年より個人でヤングケアラー支援を開始、その後2022年にヤングケアラー協会へ参画、理事に就任。外資系製薬会社2社、自動車メーカーにて勤務した後、現在は株式会社オリィ研究所にて事業開発の責任者をつとめる。経産省「始動Next Innovator」7期生、JHeC2022優秀賞。



日 時

令和5年10月21日
(土)
14:00～16:00
(受付13:00～)

会 場

久留米シティプラザ
5階大会議室
(久留米市六ツ門町8-1)

対 象

ヤングケアラーに
関わる市内の
支援機関などの
支援者

申込期間

令和5年9月11日(月)～10月13日(金)

申込方法

電子申請・FAXにてお申込みください。
FAXの場合は裏面の申込書をご利用ください。

先着200名

電子申請はこちら



電子申請QRコード

問い合わせ先

久留米市こども子育てサポートセンター(久留米市城南町15番地3)
TEL: 0942-30-9302 FAX: 0942-30-9718
MAIL kokosapo@city.kurume.lg.jp

ヤングケアラーに関わる支援機関等研修会（10月21日（土）開催） 申込書	
ふりがな 氏 名	
所属機関・団体名 事業所名	
役職・肩書	
所属機関等の住所 （ない場合は個人のもの）	
所属機関等の電話番号 （ない場合は個人のもの）	
所属機関等のメールアドレス （ない場合は個人のもの）	

申込期間：令和5年9月11日（月）～10月13日（金）

講師への質問事項（研修時間の都合上、回答できない場合もあります）